

越中一宮

<https://www.takase.or.jp>



四月・五月の祭事

月次祭（毎月一日・十三日）

神武天皇祭（四月三日）

春季祭（四月十日）

昭和祭（四月二十九日）

御田植祭（五月下旬）



桜詣。

春の予感、心軽やかにー。

開花の頃より見頃を過ぎるまで、

「桜詣」のご朱印を授与しております。



撮影：藤井秀郷



「神宿る場所」

宮司 藤井 秀嗣

先日、田畑の水利の守り神である「水分神社」の例祭を奉仕した。用水を管理する土地改良区の理事長はじめ役員が参列。今年も災い無く、潤沢なる水をいただき、来る秋の豊かな実りを祈念した。この用水は、飛騨の深山を水源とする一級河川「庄川」から水をひいている。この清流のお陰で砺波平野一帯は良質の「稲穂」が育ち、美味しい「清酒」ができる。さらに香り高い「鮎」も獲れるのである。たくさん恵みを与えてくれる庄川は、この地域には無くてはならない大切な清流なのである。

その大切な「庄川」の源流に産業廃棄物処分場ができる。理事長からお聞きした。大変憂慮すべきことである。万

が一、処分場のある源流域で災害が発生し、廃棄物や汚水、汚泥などが流失したならば、下流域のすべて影響が及ぶのは間違いない。最近、頻繁に発生する自然災害に遭遇しないという確証はない。なぜ清らかで生命にかかわる貴重な場所を汚すことをするのだろうか。人目につかない場所だからか。隠れてしなければならぬことだとしたら、それは悪いことだよというとしていてはどうか。いろいろと詮索してしまう。

山や森は、天から降った雨を蓄え、清水にして流してくれている。私たちの命を育んでいく生命の源であり、神々が坐す場所でもある。

神道は自然崇拜から始まった。日本人は山や森、川など

自然のなかに神様が宿ると考え、自然を大切に守ってきた。しかし、神様からいただいた自然の恵みは、文明の進歩（過度の経済活動）とともに段々と失われてきた。森も水も我々の命もみんな神様からいただいたものなのに、自分で得たもののように、我がもの顔で自然破壊を繰り返している。昨今の頻発する自然災害は神々からの警告なのかもしれない。今一度原点に立ち返り、自然（神々の宿る場所）を回復して、将来にわたり長く守っていかねばならない。

森羅万象を司る諸々の神様に来し方を感じて、未来への祈りを捧げ、謙虚な心で自然と向き合えば、神様は豊かな稔りと明るい未来を約束してくださるにちがいない。金に目が眩んで、道を外れてはいけない。神罰が下る。

節分祭齋行

「豆まき神事、賑わう。」

暦の上で季節の節目を表す「二十四節気」の始まり、「立春」を翌日に控えた二月二日、季節の変わり目に不意に忍び寄る邪気を追い破る「節分祭」並びに豆まき神事を齋行しました。

立春が一年の始まりとする考えに基づき、この節目を特に「節分」と呼んで、各地で豆まきなどの「追儺神事」が行われるようになりましたが、節分の日は二月三日と定まってはならず、今年の上



ご奉仕いただき
ました氏子、また
七十四名の巫女を
始めとする助勤者
の心のこもったお
もてなしは、ご参
拜の皆様を、あた
たくお迎えしま
した。



令和七年 巳年
初詣



今年は巳年！。
へびは脱皮を繰り返して大きく逞しく育ちます。
多くの皆様で賑わった今年の初詣も、関係各位のご協力により、大過なく無事に実施することが出来ました。

初詣句会

福野糸瓜句会奉納句

御雑煮や椀に沈める赤と白	梅島くにを
縄張りし松の清しさ初詣	田上真知子
初春の祝詞に気持改まる	上古 眞澄
被災地へ祈りの言葉雑煮食ふ	有川 寛
幸へと賜る祝詞初句会	城宝寿美礼
歳時記を展く机やお元日	高原 禮子
乗り初めや鳥居前よりシャトルバス	有川 公子
峰々を率きし立山初御空	五十嵐千恵子



うに翌日の立春の日により二日ないし四日に変動します。

昭和六十年より長い間「二月三日の節分」が続きましたが、令和三年よりしばらくは三年おきに「二



月二日の節分、来年から三年間は二月三日の節分となり、令和十一年の節分は再び二月二日となります。



祈年祭齋行

―五穀豊穡の祈りをこめて―

日本海側に長く居座った数年に一度と言われる大寒波により、境内も雪と凍てついた真冬の空気に包まれた二月十七日、その年の豊穡と産業の発展を大前に祈念する「祈年祭」を齋行しました。

「春祭」とも呼ばれるこの祭事は、古来、温暖な季節を迎え、稲作を始めとするその年の農作業が本格化する前に、作物全般の豊かな稔りをご神前に祈念するものでしたが、人々の生活の有り方が様々に変化した現代では、工業や商業を含む我が国の根幹をなす、すべての産業の発展をも祈る大切な祭事となりました。



本年は藤井秀之、岩倉恒夫両責任役員、令和六年度献穀田奉耕者 中田幸礼氏、井波地域農業者会会長 西村精志氏他、多くの皆様のご参列のもと、盛大且つ厳粛裡に齋行されました。
宮司の祝詞奏上に続き、神楽「浦安の舞」が奉奏されました。また古くより地元で活動を続ける井波松風会（前田由美子会長）

により、「光（昭和天皇御製）・凱旋（乃木希典 作）」、二曲の吟詠をご奉納いただきました。
世代を重ね、私たち日本人の暮らしが変化を遂げた今日においても、大神様の御恵みを祈る人々のひたむきな姿は、いつまでも変わりません。

井波松風会の皆様による吟詠



功霊殿を拝礼



皇紀2685年 紀元節祭齋行

神武天皇のご聖業を讃えて
白雪の舞う二月十一日、「紀元節祭」を齋行しました。
今年「令和七年」、西暦では二〇二五年となりますが、日本には日常的に使われる「元号」の他に、もう一つ独自の「紀元法」があります。それは我が国の基礎を築き国家の安定にお力を尽くされた初代天皇 神武天皇（即位の年を元年とする「神武天皇即位紀元」）。一般的には「皇紀」と呼ばれています。
神武天皇が建国を成されてより悠久二六八五年。祭典では我が国の安泰と益々の繁栄を祈念しました。



鎮火祭齋行

—地域の無火災・無災害を祈って—

境内のあちこちに積雪の残る三月八日、南砺消防署東分署長 笠井幹夫氏を始め、南砺市消防団井波消防団連合会筆頭分団長 永森孝之氏、同福野地域消防団筆頭分団長 齊藤秀毅氏他、地域の消防・防災に携わる皆様、また関係各位のご参列のもと、「鎮火祭」を齋行しました。古式にならない、宮司と久恵欣紀高瀬分団長が「瓢の水」、続いて中嶋範英副分団長・山田哲生部長が各々に「埴土」と「川菜」を手に執り、地域の無火災を祈って「鎮火の儀」を奉仕しました。



瓢の水で炎を消し止める久恵分団長と宮司



川菜



埴土



瓢の水

天長節祭齋行



—天皇陛下の
お誕生日を寿ぎ—

二月二十三日は、今上陛下が令和元年にご即位されてより六度目の祝日「天皇誕生日」。この日、当社社でも陛下の満六十五歳のお誕生日を寿ぎ、「天長節祭」を齋行しました（ご即位がお誕生日後の五月一日であった為、令和元年の祝日「天皇誕生日」と宮中三殿での「天長祭」はありませんでした）。
祭典では天皇皇后両陛下の末永いご健康と皇室益々の弥栄、国家国民の繁栄を祈念しました。

月次祭参列のご案内

高瀬神社では、氏子崇敬者の皆様に月次祭にご参列いただき、ご家族の平安と繁栄を祈念しております。
ご参列をご希望の方は、社務所までお問い合わせ下さい。



日時 毎月1日・13日
午前10時
(1月1日・9月13日を除く)

この訓練は、国民共通の財産である文化財を火災の被害から守り、関係機関との連携、防火意識の高揚を図る為のものです。当日は消防隊の初期消火、通報、避難誘導訓練も併せて実施しました。



地元消防団による放水訓練

防火意識を再確認

一月二十六日、「第七十一回文化財防火デー（毎年一月二十六日）」にあわせて文化財防火訓練を実施しました。

文化財防火訓練実施





夏の風鈴、秋のもみじなど、高瀬神社では、季節ごとにその風物詩とも言える飾り細工で社殿や境内を彩り、ご参拝の皆様にお楽しみいただいています。

杜のにぎわい

現在は、来たる五月に向けて「端午の節句」の吊るし飾りを準備しています。風薫るやわらかな初夏の陽射しと共に、季節の飾り細工をお楽しみ下さい。



桜詣のお知らせ

期間 開花の頃〜見頃過ぎまで

春の予感、心軽やかに。

高瀬神社の境内や一ノ宮橋の架かる大門川のほとりは、この時季やわらかな桜の香りに包まれます。社務所では「桜詣」のご朱印をご用意してご参拝をお待ちしています。



三百枚限定の桜詣ご朱印
特別な和紙に墨書しています

祝祭日には国旗を掲げましょう

毎年六月と十二月に行われる「大祓」は、私達が日々を送る中で知らず知らずのうちに犯した罪穢れを祓い、続く半年を無病息災に過ごす為の、我が国に古くより伝わる大切な年中行事です。

当日は、「人形」に罪穢れを移し、「茅の輪」をくぐることににより「人形」をご希望の方は社務所までお問い合わせ下さい。



夏越の大祓

茅の輪くぐり神事

6月30日(月) 午後3時斎行

安産祈願 戌の日カレンダー

4月	11日・23日	7月	4日・16日・28日
5月	5日・17日・29日	8月	9日・21日
6月	10日・22日	9月	2日・14日・26日

腹帯のお祓いも行いますので、どうぞご持参下さい。



なつもうで 夏詣 開催

期間 七月一日(火)～七日(月)

日本の新しい習慣として
「大祓」は年に二回行われま
す。十二月三十一日の「師走の
大祓」で罪穢れを祓い清めてか
ら「初詣」に出かけます。

六月三十日の「夏越の大
祓」でも同様に罪穢れを祓
いますが、その後あらため
て参拝する習慣はありませ
んでした。そこで、半年が
無事に過ぎたことに感謝
し、残る半年も平穩に過ご
せるよう祈る参拝のことを
「夏詣」と呼び、新しい習
慣として提唱しています。
当神社では、この「夏
詣」期間、境内に風鈴を飾
り、涼やかな音色をお楽し
みいただいています。



夏詣期間限定のご朱印

ご奉納御礼

【浄財(古希記念) 参捨萬圓】 みに美容室 三谷千津子 殿

【境内除雪】 株式会社 藤井組 代表取締役社長 藤井 公嗣 殿

右の方よりご奉納を賜りました。厚く御礼申し上げます。

連載 鎮守の杜 のすたるじい 第7回

昭和の結婚式もよう

みに美容室 三谷千津子

みに美容室は私で四代目、創業一
二八年になります。振り返りますと昭
和の時代より長い間、高瀬神社の結婚
式に携わって参りました。

昔の結婚式は、ご自宅で花嫁様の支
度を整え、お家のご仏壇と神様にお参
りして、新郎家へ家族、友人と共に出
発致します。

昔は色々なきたりや決まり事があ
り、中でも「水合わせの儀」やご仏前
参りについてのお尋ねが多く、式が無
事に整うようお手伝いしていました。
やり直しのきかない真剣勝負の仕事な
のですが、今思い返せば思わず笑って
しまうエピソードも多々ありました。
家を出発する時、「後ろを振り返ら
ないで」とお嫁さんにアドバイスした
り、お嫁さんの乗る車が絶対バックし
てはいけないので、細い道で対向車に



介添えをする先代の千津子さん

出会うと
相手様に
バックし
ていただ
くとか。
また、前
出の水合
わせの儀



水合わせの儀、右は当時の千津子さん

に関して
だけでも、
竹筒の栓
が取れな
くて必死
に取ろう
とするお
仲人様、
儀式に使
った盃が割
れないと困るので力いっぱい投げつ
ける方、そもそもお家の水を入れた
竹筒を絶対に忘れて来ないように…
等々、それはそれは様々な人間模様
でございました。

ご仏前へのお参りが済むと高瀬神
社に出發します。当時はタクシーや
マイクロバスなどで車列を組んで賑
賑しく進み、神社に到着すると、婚
礼写真を撮ってようやく挙式に臨み
ます。

令和の今日では、花嫁様もたいそ
う様変わりしました。あの頃はほと
んど日本髪のかつらでしたが、今は
洋髪。メイクも白塗りからナチュラル
ルメイクへ。その中でただひとつ変
わらないのは、お二人の永遠の幸せ
を願う気持ちです。

祖母、母、私、娘と、いつの時代
も、そしてこれからも、私達は花嫁
様に寄り添いながら、日々研鑽に努
めて参ります。

このコラムでは、氏子崇敬者の皆様より
お寄せいただいた、高瀬神社にまつわる
とっておきの思い出を介添えさせていただきます。





大国さまの処方せん ①⑥

「合わせ鏡」

南砺市民病院

主任看護師 川那辺 由理

皆さまは認知症に対してどのようなイメージをお持ちですか？認知症は、良くも悪くも長年誤解され、偏見にさらされてきた病気です。認知症への対応は、時代や国によっても変化しています。中世においては、年老いた親が認知症になっても、神様の自由な世界に近づいたとして、高齢者が存在すること自体に意味を持たせる文化がありました。ところが幕末からは、老いを病の延長と捉えるようになり、認知症は病人として扱われ、老いのもつ負のイメージを膨らませるようになりました。そして現在、認知症について少しずつですが分かってきたことも増え、誤解が解けて、認知症の方の

立場に立った取り組みが始まっています。

あなたも、その支援の輪に加わりませんか？そのためにも、まずは認知症の方とコミュニケーションを取りましょう。もし、あなたが認知症の方とどう関わったらよいか分からない場合、まずは自分の表情と声のトーンを意識してみましよう。何かを伝えようとする時、表情やジェスチャーから55%、声の調子から38%、言葉から7%という割合で相手に伝わると言われています。高齢になると、耳が遠くなり、言葉でのコミュニケーションが難しくなりますが、声に含まれた感情がより強く伝わるようになります。難しい事を伝える必要はありません。

せん。表情や声色を駆使して「あなたを理解したい」という姿勢を示しましょう。

認知症のケアは合わせ鏡です。認知症の方が居心地悪そうにしていたら、少し自分の関り方を振り返ってみましよう。そのようにすれば、コミュニケーションへの糸口が見つかるかもしれません。

川那辺 由理

南砺市民病院 主任看護師
認知症看護認定看護師
南砺市出身

富山赤十字看護専門学校卒。
日本赤十字社医療センター
独立行政法人国立病院機構
北陸病院勤務を経て現職に
至る。

看護師として日々患者さんの健康維持に取り組みられています。

医薬医療の神として知られる大国主大神（大国さま）のご神徳にちなんだこのコラムは、毎回、専門家の方にご寄稿いただき、読者の皆様の生活に役立つ医療知識などを発信いたします。



はがた
歯固め石
のご案内

初宮参りにてご昇殿の赤ちゃんに、「お食い初めの「歯固め石」をお頒かちしています。「丈夫な歯が生えますように」との願いを込めて行う儀式に、この「歯固め石」をご希望の方は、どうぞご祈祷後にお申しつけ下さい。

ご祈祷のご案内

高瀬神社のご祭神は福の神、縁結び・医薬医療の神として全国より広く崇敬を集める大国主大神（大国さま）です。

当神社では、交通安全（車のお祓い）・家内安全・良縁成就（縁結び）・心身健全・厄除け・病気平癒他のご祈祷を、心を込めて毎日ご奉仕しています。

お気軽に社務所までお問い合わせ下さい。

ご祈祷料 1件につき5,000円以上思召し
高瀬神社社務所 0763 (82) 0932



七夕祭並びに技芸上達祈願祭のご案内

日時 7月7日(月) 午後3時

「星まつり」ともいわれる七夕は、天の川を挟んで離れながらの織女星と牽牛星が、七月七日の夜にだけ再会することを許されたという、古よりの伝承を起源とする風習です。この日、当神社では七夕の神事に併せて、織姫（織女星）の優れた手わざにあやかり、手習い事の上達を祈願する「技芸上達祈願祭」を斎行します。どうぞご家族お揃いでお参り下さい。

人形感謝祭のご案内

古くなった人形に感謝し、お祓い、お焚き上げをするお祭り「人形感謝祭」を行います。

役目を終えた「人形」や「ぬいぐるみ」をお持ち寄り下さい。

日時 7月20日(日) 10:00より
 場所 高瀬神社 本殿
 受付 7月19日(土) 9:00～15:00
 7月20日(日) 9:00～ 9:45
 祈願料 3,000円より
 (手提げ袋1袋程度につき)



令和6年、清めの雨の中での人形祓い

社報バックナンバーのご案内

当社社のホームページにてバックナンバーをご覧ください。ただ、祭典の由緒や行事の沿革など、過去の記事もご参考にさせていただきます。

<https://www.takase.or.jp>

第25回 人形展 ～一期一会～

期間 7月19日(土)～21日(月)
 午前10時～午後4時
 会場 高瀬神社 参集殿

慣れ親しんだ人形とのお別れは寂しいもの。ここにはそんな心を優しく癒してくれるひとときがあります。

県内外で幅広く活躍する人形作家と、草月流富山県支部秀抱会とが織りなす、数々の創作人形といけばなの艶やかな共演——。心ゆくまでお楽しみ下さい。



多くのご参列をいただいた人形感謝祭



表紙写真

鳥居と桜。高瀬神社の境内で、季節の移り変わりを感じて下さい。

編集後記

東京ではとバスに乗った。流暢なマイクの声に、生きた街の情報は日々つろつろというのに、長らく

アップデートされていない自分の知識に少し驚いた。ツアーの終わりにガイドさんが「東京のバスガール」を歌ってくれ、車内が懐かしい雰囲気包まれた。ホッとした瞬間だった。

(智)

【辞令】

権禰宜 岩田 智典
 高瀬神社禰宜に任ずる
 令和七年四月一日
 神社本庁

採用 赤松 美佐
 巫女見習を命ずる
 令和七年四月一日



【仕事守】
 頒価 1,000円
 オレンジ・青色/錦カード型
 縦6.5×横3.7cm
 (写真は台紙付き)

春は学生さんが新社会人としてお仕事に就いたり、転職、転職、また新しいプロジェクトが動き出したりする季節です。高瀬神社では、すべての働く皆様に「仕事守」をご用意してお待ちしております。お守授与所にてお受け下さい。

仕事守の紹介



新参集殿10周年

これからも新たな夫婦の幸福のために。



発行日 令和七年四月一日

発行所 越中一宮 高瀬神社社務所

〒932-0252 富山県南砺市高瀬291

TEL0763-8210933
FAX0763-8213304

印刷所 牧印刷株式会社



あなたの人生に、神社がある。越中一宮高瀬神社

〒932-0252 富山県南砺市高瀬291
ご予約はTEL0763-82-1131

高瀬神社

